

1. 環境マネジメントの推進

長野市環境マネジメントシステム(NEMS)による取組

環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を全庁を挙げて推進するため、次の取組を行っている。

- ① 長野市環境基本計画の進行管理
- ② 市有施設におけるエネルギー使用量の一元的把握
- ③ PDCAサイクルによる次年度への取組の反映 など



第三次長野市環境基本計画に掲げた各指標の令和6年度における取組結果を報告するとともに、令和7年度の指標・目標値を設定するもの



SDGsの達成に向けた取組を推進



環境マネジメントシステム報告の流れ

① 環境調和都市推進委員会の開催(書面開催)

委員長:西澤副市長 副委員長:環境部長 委員:各部局長



【確認事項等】

- ・令和6年度達成状況及びエネルギー使用量の報告
- ・令和7年度指標・目標の決定

② 市長レク



【確認事項等】

- ・令和6年度達成状況及びエネルギー使用量の報告
- ・令和7年度指標・目標の報告



- ・市長マネジメントレビューの確認・署名

③ 所属長への周知・長野市ホームページに公開

2. 第三次長野市環境基本計画に掲げた各指標の取組結果

3

詳細 報告2号参照

基本目標	令和6年度の 取組結果	主な未達成項目 (未達成理由)
	目標値の設定数 31(再掲除く) 達成 15・未達成 16	
①脱炭素社会の構築	14指標中、達成7	<u>バイオマス発電量(82.0%)</u> (理由:お山の発電所第二発電所がメンテナンスのため、4ヶ月しか稼働をしなかったため)
②循環型社会の実現	3指標中、達成2	<u>使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる(96.0%)</u> (アンケート指標) (理由:目標の80%に対し「当てはまる」等の回答が76.8%となっている)
③豊かな自然環境の保全	7指標中、達成4	<u>搬出間伐による木材生産量(56.9%)</u> (理由:施業面積や施業環境、施業地の状況などの様々な要因によるもの)
④良好で快適な環境の保全と創造	5指標中、達成2	<u>中心市街地の路上ポイ捨て吸い殻本数(年間)(67.4%)</u> (理由:観光需要の増大など人流が増加し、ポイ捨て本数が増加したもの)
⑤協働と学びの推進	2指標中、達成0	<u>環境学習会年間参加者数</u> (理由:定員を超える参加申込があったが、活動組織の高齢化など、受入態勢の課題による)

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

3. 令和6年度市有施設のエネルギー使用量(原油換算)

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

全市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など)における電気、ガス、灯油等と、全庁用車のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

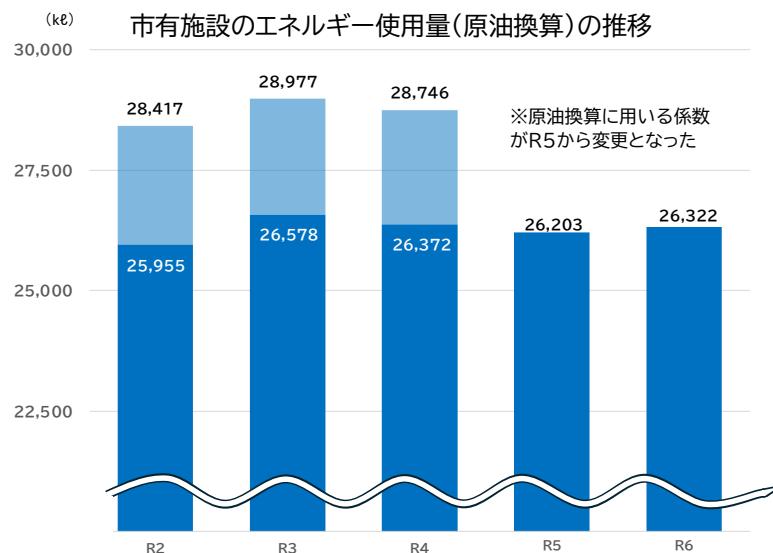
種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり

種 類 別	令和6年度 報告使用量	令和6年度 原油換算量(kℓ)	(参考) 令和5年度 原油換算量(kℓ)	(参考) 対前年度比(kℓ) // (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電 気	83,223 MWh	18,551.5	18,269.9	281.6 kℓ 1.5%	70.5%	長野運動公園コージェネレーションシステム故障に伴う電気使用量の増等(+254.5kℓ) 東部浄化センター機器更新等に伴う減(△123.4kℓ)
都 市 ガ ス	3,858,192 m³	4,479.4	4,584.7	△ 105.4kℓ △ 2.3%	17.0%	スピードスケートワールドカップ開催に伴う使用量の増等(+54.2kℓ) 長野運動公園コージェネレーションシステム故障に伴う減(△164.2kℓ)
液化石油ガス (LPG)	129,923 m³	366.7	358.0	8.6 kℓ 2.4%	1.4%	温浴施設等における利用者の増加などに伴う増(+7.5kℓ)
ガ ソ リ ン	418 kℓ	360.4	357.7	2.7 kℓ 0.8%	1.4%	市営バスのガソリン車導入に伴う増(+10.8kℓ)
灯 油	2,255 kℓ	2,123.6	2,170.5	△ 47.0kℓ △ 2.2%	8.1%	東部浄化センター冷温水器の不調に伴う増(+23.2kℓ) やきもち家の利用者減(△18.2kℓ)、ひかり学園コスト削減(△17.4kℓ)
軽 油	297 kℓ	291.3	290.0	1.2 kℓ 0.4%	1.1%	戸隠スキー場ゲレンデ整備に伴う増(+8.8kℓ) 路線廃止に伴う市営バスディーゼル車の減(△10.8kℓ)
A 重 油	149 kℓ	149.4	171.6	△ 22.3kℓ △ 13.0%	0.6%	衛生センターの暖房を電気に変更したことに伴う減(△8.6kℓ)
合 計		26,322.2	26,202.6	119.6 kℓ 0.5%	100.0%	

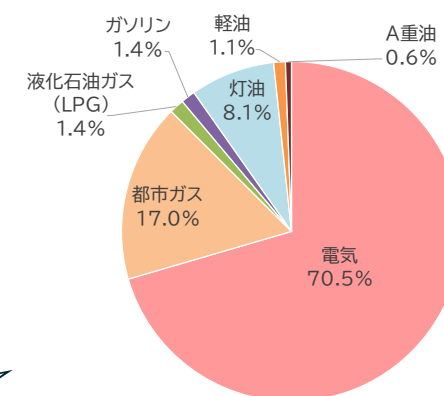
(3) エネルギー使用量(原油換算)の推移

令和6年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり

年度	使用量
R2	28,417 kℓ
R3	28,977 kℓ
R4	28,746 kℓ
R5	26,203 kℓ
R6	26,322 kℓ



令和6年度 市有施設の
エネルギー種類別構成比(原油換算)



4. 令和6年度長野市役所温室効果ガス排出量 (全市有施設)

種類別	R6 CO ₂ 排出量(t)	R5 CO ₂ 排出量(t)	前年度比(t) 〃 (%)	R6 割合(%)
エネルギー起源	46,114	50,428	Δ4,314 (Δ8.6%)	96.3%
非エネルギー起源	1,769	1,761	+8 (+0.5%)	3.7%
合 計	47,884	52,188	Δ4,304 (Δ8.2%)	100%

※エネルギー起源:燃料(電気、ガス、灯油等)の燃焼で発生・排出される二酸化炭素(CO₂)
 非エネルギー起源:燃料の燃焼以外の要因(下水の処理等)で発生・排出されるCO₂

【参考】温室効果ガス排出量の減少理由

- ・電力会社の排出係数の減少
- ・低炭素電力への切り替え

CO₂ 排出量 Δ4,304t-CO₂
 比 較 Δ8.2 %

【参考】排出係数比較(一部抜粋)※単位:t-CO₂/千kWh

電力会社	R5 CO ₂ 排出係数	R6 CO ₂ 排出係数
中部電力	0.459	0.421
お山の発電所	0.447	0.426
ハルエネ	0.376	0.318
エバーグリーン	0.441	0.395
岐阜電力	0.016	0.000

排出係数の変更について

地球温暖化対策推進法施行令の改正に伴い、令和7年度報告(令和6年度実績)から、温室効果ガス排出量算定に用いる電気事業者の排出係数算定方法が変更

【令和5年度実績まで】電気事業者が発電に使用する燃料を基に算定



【令和6年度実績以降】上記に加えて固定価格買取制度等の環境価値取引を反映

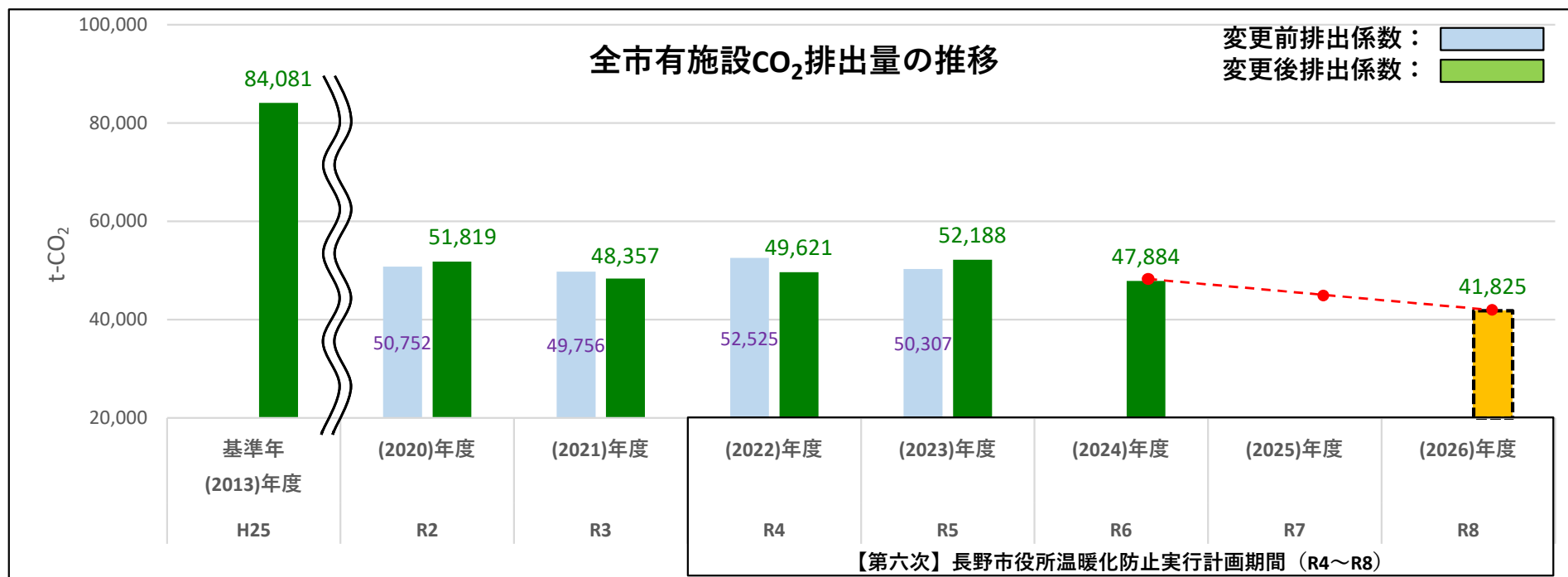
【主な電気事業者の排出係数】

単位：t-CO₂/千kWh

	中部電力		お山の発電所		ENEOS		ハルエネ		エバーグリーン	
	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
R2年度	0.431	0.426	0.026	0.448	0.462	0.472	0.492	0.509	0.316	0.440
R3年度	0.406	0.379	0.027	0.484	0.461	0.480	0.430	0.395	0.435	0.558
R4年度	0.449	0.388	0.038	0.441	0.406	0.452	0.497	0.466	0.535	0.518
R5年度	0.433	0.459	0.030	0.447	0.400	0.459	0.431	0.376	0.354	0.441

【第六次】長野市役所温暖化防止実行計画進捗状況

7



- ・計画目標値(41,825t-CO₂)に対し、令和6年度のCO₂排出量は47,884t-CO₂
- ・今後2年間で約6,059t-CO₂(毎年約6.3%程度)削減する必要がある

【重点取組事項の進捗状況及び今後の取組】※()内は導入した際の削減見込み量

施策	目標値	進捗状況	今後の取組
低炭素電力の導入 (基準年からの増加量)	+ 1,200万kWh (Δ4,000t-CO ₂)	+ 1,056万kWh (Δ3,520t-CO ₂)	自治体新電力「ながのスマートパワー」を通じ、低炭素電力の更なる導入を図る
市有施設への太陽光発電 システムの導入	+ 400kW (Δ220t-CO ₂)	+ 180kW (Δ100t-CO ₂)	新築又は改修した市有施設へPPAを活用し、順次設置する

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

5. 長野市における環境に配慮した主な取組とその効果

【施策1】 低炭素電力 の導入	1. ごみ発電電力の市有施設への導入			
	令和6年度導入量(kWh)	CO ₂ 排出係数(t-CO ₂ /千kWh) ※カッコ内は大手電力会社	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	18,193,977	0.139(0.421)	5,130.7	R6年度導入量におけるながのスマートパワーのCO ₂ 排出量と大手電力会社のCO ₂ 排出量を比較し、その差を削減量とした。
【施策2】 非化石エネ ルギー使用 設備の導入	1. 太陽光パネルの導入			
	令和6年度時点の導入量 (kW)	令和6年度発電量(kWh)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	1,789.5	1,181,832	497.6	R6年度発電量の1,181,832kWhを大手電力会社から購入していた場合のCO ₂ 排出量を削減量として算出。
	2. 小水力発電設備の導入			
	令和6年度時点の導入量 (kW)	令和6年度発電量(kWh)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	29.2	133,504.8	56.2	R6年度発電量の133,504.8kWhを大手電力会社から購入していた場合のCO ₂ 排出量を削減量として算出。
	3. 木質バイオマス燃料使用設備の導入			
	令和6年度燃料使用量(t) (薪・木質ペレット)	令和6年度使用熱量(GJ)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	407	5,372.5	368.0	木材:13.2MJ/kg 灯油:36.5GJ/kℓ, 2.5t-CO ₂ /kℓ 使用熱量を灯油換算すると灯油の使用量は、147.2kℓ。
【施策3】 低公害車 の導入	1. EV(電気自動車)の導入			
	令和6年度時点の導入台数(台)	令和6年度総走行距離(km)	削減したCO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	備 考
	3	20,316	0.5	ガソリン:2.29t-CO ₂ /kℓ(燃費23.9km/ℓ) 電力:0.421t-CO ₂ /千kWh 走行距離から車の燃費を23.9km/ℓとして逆算すると、ガソリンが850ℓ必要となる。
				合計削減量(t-CO ₂)
				6,053.0